

令和5年度 進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第3号
令和5年10月20日発行



前期の青年学級の様子を紹介します！

第1回 青年学級「オンラインしゃべり場」7月15日(土)

8名の卒業生と旧担任がZoomを通して交流を深めました。近況報告の後「今、はまっていること」を紹介し合いました。音楽、旅行、ピラティス、アニメ等いろいろな興味をもって余暇を過ごしていました。今後の青年学級では「体を動かしたい」「音楽を楽しみたい」と意見が出て、特別ゲストの生涯学習センターの先生から「今日行くところがある。やることある。」ことが大事というお話がありました。また、事務局より青年学級を生涯学習センターで実施するという提案がありました。



↑パソコン画面上では、このような感じです

第2回 青年学級「二十歳を祝う会」7月29日(土)

令和3年度卒業生、保護者、同窓会会員、旧担任、きらり職員が集まり、「二十歳を祝う会」が本校を会場に行われました。Zoomによる参加を含めて、令和3年度同窓生が13名参加しました。皆さんの近況報告に続いて、参加者全員で音楽を楽しむ活動もあり、コロナ禍を乗り越えての再会を喜び合いました。



↑音楽の演奏で大盛り上がり



第3回 青年学級「エンジョイ ミュージック」9月17日(日) <秋田県生涯学習センター>

第1回の提案を受けて、生涯学習センター(秋田市山王)で行いました。同窓生9名が参加し、在校時に音楽の授業を担当していた職員による進行で、その当時に思い出しながら演奏を楽しみました。ボランティアや生涯学習センター職員の皆さんとの関わりもでき、学校外で実施する試みは大成功でした。



会場も広くて、コンサート会場のような感じでした↑



高等部「卒業生講話会」

9月7日(木)本校高等部卒業生の高橋真莉亜さん、相原萌さんのお二人をお招きして、卒業生講話会を行いました。卒業後の生活、高等部在学中にやっておくべきことについて、お話をいただきました。

高橋 真莉亜さん(聖和)

学校生活の思い出

○「職業」で、卒業後の生活について勉強したことが、今役に立っています。

生活について

○朝7時20分頃起きて夜は9時ごろ寝ます。
○聖和には10時から3時30分までです。
○休みの日は、ぬりえやゲーム。母と買い物に行ったりしています。
○気を付けていることは、持ち物を前の日まで準備することです。

これだけは伝えたい！後輩にメッセージ

学校生活では、友だちや先生とたくさん話をしたことが、とても印象に残っています。学校生活は、卒業後も役立つことがたくさんあるのでこれからも楽しみながら頑張ってください。



相原萌さん (JA 秋田しんせい)

学校生活の思い出

情報の時間でたくさんパソコンに触れることができました。ワープロ検定というものがあることも知り、授業や検定で得た知識を今では仕事に活かすことができます。

これだけは伝えたい！ 後輩にメッセージ

在学中にいろんな検定や資格取得に積極的に取り組んでみてください。パソコン関係の仕事に就いたとき、検定等で得た知識は必ず役に立ちます。自分でストレス解消法(趣味など)を見つけることも大事だと思います。

毎日の生活について

平日は6:00に起きて23:30頃に寝ています。休日も7:00頃には起きるようにしています。Youtubeを見たり一週間の仕事の疲れを取るために、ゆっくりのんびり過ごしています。なるべく体調を崩さないように、休まないように心掛けています。

障がいがあっても社会になじめるコツは？

普段から周りの人とコミュニケーションをとっていると、困った時助けてもらえるきっかけになります。一人では難しいことは無理をせずに周りの人に声をかけて手伝ってもらうことも大切だと思います。



〈講話を終えて 生徒たちの声〉

- 早寝、早起きが大切だと思いました。
- 卒業後の生活について知ることができてよかったです。
- 聖和のお風呂のことがよく分かりました。
- 体調管理や周りの人達とのコミュニケーションが大切だということが分かりました。
- 高等部にいる間、検定を受けたり、資格取得のための勉強を頑張ろうと思います。

体験イベント9月18日(月) 特別支援学校生×秋田県中小企業家同好会

秋田県勤労身体障害者スポーツセンター

秋田県内の中小企業同好会のうち10社の協力のもと、特別支援学校の児童生徒を対象に職業体験会が開催され、本校から5名の児童生徒が参加しました。体験ブースでは①グルーガンでの制作②リサイクルガラスのアクセサリ③エンジニア体験④新聞紙で作ろう⑤食品会社の仕事体験⑥網戸張り替え⑦樺細工⑧大工に挑戦⑨お琴体験⑩木材にふれようの10種類の内容がありました。『社会に出たらどんな仕事があるのか。仕事をすることのイメージの想像や体験をしよう』をテーマにしている、体験を通して、仕事へのイメージを広げる機会となりました。

↓①グルーガンのアクセサリ



②リサイクルガラスのアクセサリ↓



⑥網戸張り替え↑

←⑦樺細工

⑧くぎ打ちとねじ回し体験→

キャリア教育

中央廊下の進路コーナーに、「きらきらみらいくん」ポストを設置しました。進路について知りたいこと、分からないこと、不安なことなどを、備え付けの用紙に記入してポストに入れてください。進路指導部が対応いたします。また、この「きらきらみらいくん」は、子どもたちからの相談や、頑張っていること、できるようになったことなども受け付けています。子どもたちが頑張

っていることやできるようになったことは、みらいくんの隣の掲示コーナー「各学部のキャリア教育」として紹介します。自分の成長を知り、みんなに認めてもらうことで、自己肯定感や自己有用感が高まり、一人一人の「きらきら」した「みらい」につながることでしょう☆☆☆



